

教科目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

- 外国語でのコミュニケーションを通して、その楽しさを体験し、言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さに気付かせ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- 体験的に外国語を聞いたり、話したりすることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるとともに、日本語との違いを知ることで言葉の面白さや豊かさ等に気付かせる。

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する事例

1 学年 第6学年

2 単元名 “Hi, friends 2” Lesson 8 What do you want to be?

3 単元の目標

- 【関】友達と将来の夢について積極的に伝え合おうとする。
- 【慣】就きたい職業を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 【気】世界には様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知る。また、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを知り、言葉の面白さに気付く。

4 言語活動の充実の視点

視点1：第4時の「夢宣言クイズ」に自信を持って取り組むために、第1時から様々なゲームを行い、職業に関する英語表現に慣れ親しむ。

視点2：自分の就きたい職業のヒント(パイロットなら sky, fly, jet など)を言い、自分が何になりたいかを友達に当ててもらふことで、「聞く」「話す」必然性のある活動を行う。また、卒業を間近に控え、互いの夢を伝え、励まし合うことで、温かい人間関係を築く。

5 主な学習活動(全4時間)

時間	学習活動
1	・ジェスチャーゲーム、ポインティングゲーム、キーワードゲーム、ビンゴゲーム、チャンツ、Let's Listen 等で様々な職業の言い方に慣れ親しむ。また、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを知る。
2	
3	・Let's Play に取組み、友達の前についてインタビューする。 ・「夢宣言クイズ」のヒントを準備する。
4	・Activity に取組み、同年代の子どもの様々な夢を知る。 ・「夢宣言クイズ」に取組み。

視点1

視点2

活動設定の配慮事項

- 次の四点に配慮して活動を設定しましょう。
  - ① 聞く・話す必然性があること。
  - ② 話すことで、より理解できる活動であること。
  - ③ 児童が話したいと思う内容であること。
  - ④ 相手を考えた活動であること。

ALTの積極的活用

- ALTなどのネイティブ・スピーカーを積極的に活用し、外国語でのコミュニケーションの楽しさや、通じ合う喜びを経験させましょう。

評価の観点

- スキル向上を目標としていないことを踏まえ、見取った児童の良さを文章で記述して評価します。本事例では、各時間に次の観点について( )の方法で評価します。
  - 【第1時】慣れ親しみ(観察)
  - 【第2時】気付き(発言、振り返りカード)
  - 【第3時】慣れ親しみ(観察)
  - 【第4時】関心・意欲・態度(観察)